

2020年9月30日

投資家の皆様へ

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

販売用資料の誤記載に関するお詫びと訂正のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

弊社業務につきましては、毎々格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、弊社で作成しました販売用資料につきまして記載内容に一部誤りがございましたので下記の通り訂正させていただきます。

皆様に大変ご迷惑をおかけいたしましたことを謹んでお詫び申し上げます。

謹白

記

【対象】

下記 2 ファンドの販売用資料（使用開始：2020年2月）

「農林中金〈パートナーズ〉米国株式 S&P500 インデックスファンド」

「農林中金〈パートナーズ〉つみたて NISA 米国株式 S&P500」

【訂正内容】

当該資料中「ファンドのポイント」の「ポイント②S&P500 指数（配当込み・当社円換算ベース）と名目 GDP の推移」における説明文において一部誤りがありました。

詳細につきましては次頁をご覧ください。（赤字で下線を付した部分が訂正箇所です。）

【訂正後】

ポイント② S&P500指数(配当込・当社円換算ベース)と名目GDPの推移

米国株式は、GDPの拡大とともに成長を続けてきました。
当ファンドは米国株式の値動きに加え、為替変動の影響を受けますが、米国株式は過去およそ30年の間に約13倍まで上昇しました。



出所：IMF World Economic Outlook Oct.2019、BloombergよりNZAM作成
期間：1990年1月末～2019年10月末 名目GDPは2020年以降はIMF予測値
※上記のグラフは過去のものであり将来の運用成果等を保証するものではありません。

【訂正前】

ポイント② S&P500指数(配当込・当社円換算ベース)と名目GDPの推移

米国株式は、GDPの拡大とともに成長を続けてきました。
当ファンドは米国株式の値動きに加え、為替変動の影響を受けますが、米国株式は過去およそ20年の間に約13倍まで上昇しました。



出所：IMF World Economic Outlook Oct.2019、BloombergよりNZAM作成
期間：1990年1月末～2019年10月末 名目GDPは2020年以降はIMF予測値
※上記のグラフは過去のものであり将来の運用成果等を保証するものではありません。

以上